授業科目	構音障害Ⅰ（臨床の基礎）				
担 当 者	藤原百合				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学　　年	1年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択･必修	必修

■ 授業目的・内容

正常な発話のメカニズムや発達を理解し、構音障害を来す原因や関連要因について学ぶ。主に機能性構音障害について、鑑別診断、評価方法、指導方法について学ぶ。また、実際の音声サンプルを用いて、評価･指導プログラムの立案の演習を行う。

■ 到 達 目 標

・正常な発話のメカニズムを踏まえ、構音障害の概要について理解する。
・機能性構音障害に対する評価・指導を模擬的に実施できる。

■ 授 業 計 画

第１回　正常な発話のメカニズム（呼吸、発声、共鳴、構音）
第２回　日本語音の種類（母音、子音）
第３回　日本語音の音声表記演習
第４回　話しことばの発達
第５回　発達途上で見られる音の誤り
第６回　特異な構音操作による誤り
第７回　発話が不明瞭な子供の診方
第８回　構音障害の原因、関連要因
第９回　構音検査法
第10回　構音評価（演習）
第11回　構音指導法
第12回　構音指導（演習）
第13回　事例によるグループ演習１
第14回　事例によるグループ演習２
第15回　まとめ

■ 評 価 方 法

筆記試験　90%　　小テスト　10%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

前もって講義資料を配布しますので、教科書の該当箇所を予習、復習してください

■ 教　科　書

書　名：標準言語聴覚障害学　発声発語障害学　第３版
著者名：藤田郁代監修　城本修　原由紀編集
出版社：医学書院

■ 参 考 図 書

■ 留 意 事 項

不測の事態（災害等）が発生した際､遠隔授業による授業運営に変更する場合がある。変更が生じた場合は、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。